

合作における音声まとめ

合作における音声まとめ 及び音声提出のイロハ

音声まとめの流れ

対象:まとめる人&参加者

提出規格 基本は448kHz 24bitだと問題ないと思います

①提出された音声ファイルを繋ぐ

↓

②各パートの音声をVSTなど刺さずボリュームだけで調節

↓

③パート事に必要ならEQ処理等して

↓

④一番最後にリミッターで音圧上げ

ざっとこんな感じ

参加者側としては

原曲なしのファイルが音割れしてなければとりあえずOK

(④の過程で音割れしていると思うように音量が上がらなかったり、そこに合わせると他がうまく行かない場合がある)

音声まとめの詳しい流れ

音声まとめの詳しい流れ

①ー1 提出された音声ファイルを繋ぐ

まず、提出された音声+原曲加工等があればそれを取りあえず繋いで参加者に確認してもらう。主に原曲加工の見落としが無いかを参加者全員に確認してもらうため。セリフの調整や音量感などはこの確認が済んでからやることを伝えましょう(そうじゃないと原曲加工の注文と音声まとめの注文が混ざって処理しづらくなるので)

②ー1 各パートの音声をVSTなど刺さずボリュームだけで調節

全体の音量感を整えることを意識

その合作の中で一番MIXが上手いなと思った人に寄せてく感じ、この辺でメドレー込みで全体通して-3db~-6db辺りで統一できるといい

よくある問題

後半になるにつれパートの音量が大きくなるので、後半のパートと前半のパートを聞き比べるのが大事(無意識に起こりがち)

※VSTに明るくない人、音声まとめの経験が浅い人はここで④に行ってしまうてもいいと思います

パート事に必要な処理

③ー1 パート事に必要な処理

全体の統一感を出すためにもEQは必須
EQをかけるのは統一感という都合上なるべく音MADの方がいいと思います。

よくある問題

ドラムを打ち込んで、低音ボイス多めのパートだとメドレー側と音MAD側の低音が高音を圧迫してセリフが聞き取りづらくなったりそのパートだけ急に音量感が変わってしまうので、低音の輪郭だけ残るようなEQのかけ方をするといいかもしれません。(200~250Hz以下を3~6dbくらい削る)

削る優先順位を決めておくと迷わない

音MADの合作であればメインは基本セリフだと思うので、セリフ、ドラム、音合わせの音域が被っている場合はセリフ最優先で聞こえさせるよう、他のところを削る。

こういう作業をする場合、パラデータを貰うとかなり作業がやりやすくなります、全部でなくても、音合わせ・セリフ合わせ・ドラム・ベースが纏まったトラック貰えるだけでかなりやりやすさが変わります

修正要望が来た場合

③ー2 修正要望が来た場合

※要望通りの処理が要望に沿えるとは限らない

ここが一番難しいところです

例えば、「低音域をもっと強くしてほしい」に対して低音域の音量を上げるという処理をしたとするとどうなるか？

↓

低音が今度は高音を侵食してしまい、セリフが聞き取りづらくなってしまう問題が発生する可能性がある。

「セリフをもっと聞き取りやすくしてほしい」に対してセリフの音量を上げる

↓

音合わせドラムが聞き取りにくい、パート作者の望んだバランスから崩れてしまう

こういう問題に対して基本的には、聞かせたいところやパートに被っている、別のパートの音域を削るようにしています。

「低音域をもっと強くしてほしい」に対して

キックかベースどっちかが聞こえやすくなれば低音感が増したように感じるためキックに被っているベースの音域を少し削ったり

「セリフをもっと聞き取りやすくしてほしい」に対しては音合わせのパートからセリフの音域に被ってるところを削るようにした方がいい結果になると思います

個人的にやってること

メドレー以外をまとめたトラックを作り、メドレーとセリフが被ってる音域を**メドレー側から削る**

これだけはメドレー側から削った方がいいと思ってます

全体的な盛り上がりに応じてボリュームを描く

④の工程で全体の音量が上がって統一される分音量差の表現が乏しくなる問題があるため、アンビエントなパート等も調節してあげるといいかも。

リミッターで音圧上げ

④リミッターで音圧上げ

ozone8に頼ってるので詳しいこと書けないです

基本的にはREAPERのマスタートラックの音量バーが赤くならないように音量を上げていきましょう、ギリギリを攻めすぎても破綻するので音が潰れない程度のところまで上げるくらいの感覚でいます。

LoudMaxというフリーVSTでoutputを-0.1、Threshを-3~-7くらいで調節するのがいい感じかなと思います。

この辺詳しくなりたい